

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|--|--|---------|-------------|-----------|------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 0402 | 地域スポーツ支援事業 | |
| 総合計画 | 分野 | 人づくり | | | | |
| | 政策 | 3-4 | スポーツの振興 | | | |
| | 施策 | 1 | 生涯スポーツの推進 | | | |
| 目的 | 地域スポーツ（生涯スポーツ）の支援を行う。 | | | | | |
| 対象 | 花巻市体育協会、花巻市スポーツ少年団本部、総合型地域スポーツクラブ、実行委員会等 | | | | | |
| 意図 | 地域スポーツ（生涯スポーツ）の普及、健康増進、体力向上を図る。 | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| ○スポーツ団体等の支援 ・花巻市体育協会活動支援 ・花巻市スポーツ少年団本部活動支援 ・総合型地域スポーツクラブ等活動支援 ・猿ヶ石川下りアドベンチャーレースの開催支援 | | | | | | |
| 市民参画の有無 [対象外] | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 | ○ 実行委員会・協議会 | ○ 事業協力・協定 | | |
| | | ○ 後援・協賛 | ○ 補助・助成 | 委託 | | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | | 単位 | 区分 | 25年度(実績) | 26年度(実績) | 27年度(計画) |
| ① | 体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室等の実施回数 | 回 | 計画 | 150 | 150 | 150 |
| | | | 実績 | 135 | 150 | |
| ② | スポーツ少年団本部への登録者数 | 人 | 計画 | 2,400 | 2,400 | 2,400 |
| | | | 実績 | 2,369 | 2,280 | |
| ③ | 猿ヶ石川下りアドベンチャーレースの参加者数（出艇数） | 艇 | 計画 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績 | 109 | 0 | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | | 単位 | 区分 | 25年度(実績) | 26年度(実績) | 27年度(計画) |
| ① | 体育協会やスポ少本部主催のスポーツ教室の延べ参加者数 | 人 | 目標 | 3,000 | 3,000 | 3,050 |
| | | | 実績 | 3,374 | 3,130 | |
| ② | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| ③ | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | ○ | 概ね目標値どおり | | 目標値より低い |

| | |
|---|---|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | |
| 【H26成果指標の設定根拠】 市体協体育振興事業及びスポーツ少年団本部事業の支援により、スポーツ教室の実施回数は増加しているものの参加者数は昨年並みとなった。 スポーツ少年団本部登録者は、昨年よりやや減少しているものの、体育協会やスポーツ少年団本部が主催するスポーツ教室の延べ参加者数は昨年並みとなった。 ※活動指標③「猿ヶ石川下りアドベンチャーレースの参加者数（出艇数）」の26年度(実績)は雨天中止によるもの。(申込数112艇) | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない |
| 有効性 | 成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | |
| スポーツ基本法が制定（平成23年8月23日施行）されたことに伴い、平成24年3月30日付けで、スポーツ基本計画が策定された。 スポーツ教室等は、市体育協会との事業のすり合わせを行い連携を深めているため、魅力ある教室や講習会等の回数を増やしている最中で、さらなる推進が見込まれる。 国の基本計画の策定に伴い、①子どものスポーツの機会の充実、②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備等が政策目標として掲げられた。このことにより、より一層、スポーツ環境の整備を図り、市民の多様化するニーズに対応したスポーツ教室等の開催につとめながら、スポーツの機会の充実とスポーツ活動の推進を図っていかねばならない。 | |

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業J-T | 事業名 |
|----|----|----|----|-------|------------|
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 0402 | 地域スポーツ支援事業 |

単位：千円

| | | 25年度 決算額(A) | 26年度 決算額(B) | 27年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 19,700 | 25,028 | | 5,328 |
| 財源内訳 | 国・県 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 19,700 | 25,028 | | 5,328 |

| | | | |
|------|--|----------------------------|-----------------|
| 事業期間 | <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 | <input type="radio"/> 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|--|----------------------------|-----------------|

部経営方針における目標

スポーツで健康、スポーツで活気あふれるまちをつくります

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。（文部科学省では、スポーツ基本法の規定に基づき、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。）

事業概要

- スポーツ団体等の支援
 - ・花巻市体育協会活動支援
 - ・花巻市スポーツ少年団本部活動支援
 - ・総合型地域スポーツクラブ等活動支援
 - ・猿ヶ石川下りアドベンチャーレースの開催支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市体協への事業の統合・拡大や連携を進めており、市体協の企画運営の専任職員の適正な増員配置が必要となる。また、市民ニーズの高いスポーツ教室等の企画を実施しており、さらなる拡大を行い市民の健康増進につなげていきたい。
 スポーツ少年団本部については、事業の見直しを図り、魅力ある活動を促していきたい。
 総合型地域スポーツクラブ等については、積極的な支援を行うために、さらに連携を深めていかなければならない。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【地域スポーツ振興事業補助金】 24,528,000円

- 各種スポーツ教室の企画、運営（講師派遣）を行い、小学生等のスポーツの普及、振興を図る
 ⇒陸上教室、バレーボール教室、ハンドボール教室、弓道、剣道、柔道教室、等
- 総合型スポーツ教室の企画、運営を行い、生涯スポーツの普及、市民の健康増進を図る
 ⇒シェイプステップ教室、スポーツクライミング教室、ウォーキング教室、等
- 指導者研修会、講習会を開催し、指導者育成、選手強化を図る
- 各地区体協、各種競技団体への補助
- プロ（トップ）スポーツ観戦支援事業補助

[特記]

- ・暑中・寒稽古等の武徳殿事業の統合（委託→補助）他のスポーツ教室と同様扱いとする。
- ・体育協会の事務局員の増員配置（新規事業、コンベンション事業の統合による）
 ※新規受託事業：指導者養成講習会、キッズアスリート育成事業。

【スポーツ少年団本部事業補助金】 500,000円

- ・78団体（野球、サッカー、バスケットボール等）加盟※H25 79団体、H24 81団体
- ・登録料 指導者：@1,200円 団員：@500円
 ⇒指導者育成を図る
- ・スポーツリーダー養成講習会、指導者講習会への派遣
 ⇒選手強化、競技の普及を図る
- ・スポーツ少年団大会（野球、ソフトボール等）への補助

【猿ヶ石川下りアドベンチャーレース実行委員会負担金】 0円

- ・8月17日の開催予定であったが雨による川の増水及び当日の天候状況により参加者及び大会スタッフの安全確保が困難と判断し中止とした。
- ・参加申込艇数 112艇（224名）